

今日の説教のポイント<ルカによる福音書1章5-25節>

①「神様にとって、あなたがたは大事な存在」、そう語りかけて下さる主イエス。このイエス様の言葉が私たちの生きて行く希望の根拠！

ルカによる福音書を読み始めた人の多くは、なぜイエス・キリストではなくバプテスマのヨハネの誕生の次第から始まるのか、と思われるのではないのでしょうか。その理由は、読み進めて行くと分かります。後に、「このお方こそ、救い主キリストだ」と語っ、

②空の鳥や野の花は私たちと違う？ 働く人間の方が上？ 原発の事故を前にして、果たしてそんなに偉そうに言えるのだろうか？

「空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は取りを養って下さる」(26)。これを読んで、むしろ、蒔き、刈り入れ、倉に入れる人間の方が偉いのではないか、と思われる方がいるかもしれません。果たしてそう言い切れるのでしょうか。トンボの飛び方、アメンボウの浮き方、世界中の色んな植物の持っている能力など、自然界に生息する生物が持つ機能そのままが目され、工学や薬学にまで応用することが始まっています。それらは生き物に神様が与えられた、自然にマッチした、共生していくためにふさわしい賜物です。私たち人間は、そのようなことを無視し、効率を考え、量を稼ぐために、自然からかけ離れた人工的なものを作り出し、最先端の技術といい、結果、原発事故による未曾有の事故も生み出し、苦しみの中にあるのではないのでしょうか？ イエス様が鳥や花を例に出されて語られたことは決して時代遅れではなく、時代の最先端を行くことなのではないのでしょうか。キリスト者として生きること、ここに誰にでも用意された、私たちが価値ありと思える根本的な姿があるのです。